

一般社団法人ケアの方舟 訪問カレッジ「Be Prau」 (所在地：埼玉県さいたま市)

事業名

「訪問型インクルーシブ」生涯学習モデル

～『超重症児者の学び』から地域をエンパワメントするネットワーク構築～

事業の趣旨・目的

超重症児者に分類される方々は最も厚い支援が必要でありながら「既存の社会教育施設やそこで行われているプログラムの拡大」からのアプローチでは生涯学習に辿り着けない。「外出困難×意思疎通の難しさ」という問題から社会やコミュニティにインクルージョンされにくい方たちの「訪問型学習支援」に多様な方々が関わることでその方のご自宅を「開かれた小さな社会」としそこに集う全ての人の生涯学習の場＝「訪問型インクルーシブ」生涯学習モデルとする。そこに生まれた「ゆるやかであたたかなつながり」が地域をエンパワメントし共生社会の足がかりとする。

事業実施体制・連携先

目白大学地域連携事業・十文字学園女子大学聖学院大学・埼玉県立大学・立正大学

埼玉県生涯学習推進課・埼玉県障害者支援課・埼玉県特別支援教育課・埼玉県医療的ケア児等支援センター・さいたま市特別支援教育室・さいたま市障害福祉課・さいたま市自立支援協議会・岩槻区障害者生活支援センターささばし・みぬま福祉会工房集・特定非営利法人合

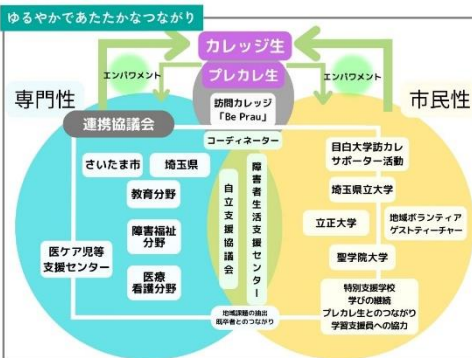
主な対象

超重症児者（重度知的障害＋重度身体障害＋医療的ケア）

活動分野

学習（訪問型生涯学習支援）

事業内容



*地域のマイノリティーである超重症児者にかかにしてご本人主体の学びを届けるかという、ごく小さな課題に多くの「専門性と市民性」を持ち寄ることで職域や立場を乗り越えた「ゆるやかであたたかなつながり」をもたらし、地域をエンパワメントする

【学びマップ活用法】

ご本人の興味関心のあることを真ん中に載せて、そこからさまざまな分野に学びを広げていきます

MAPの広がり自由かつ無限大です

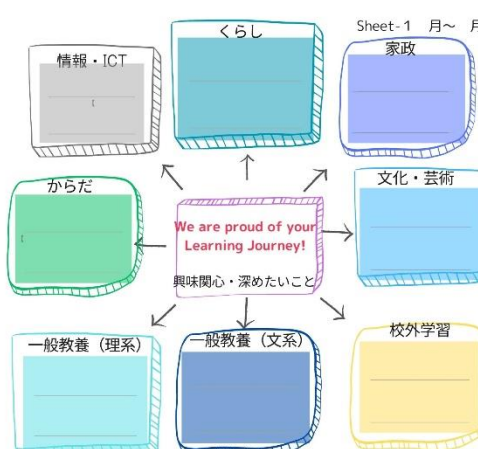
真ん中に載せたことがたくさんあればシートはどんどん増えていきます

「真ん中」が見つからなくても支援員やボランティア、ご家族と共に相談しながら探ります

実際に学んだことを記入したMAPをお渡しします。学びの足跡はあなたの誇るべき宝物です。みんなにどんな見せようと思えばいいですか！

毎日の生活の中でご本人の関心のありそうなこと、ご家族がぜひ学んでほしいことなどがあつたらメモとして書き入れてください

MAPはこれからどんどん進化していきます。利用方法のアイデアがあれば教えてください！



*「学びマップ」活用体験ワークショップを通して“ことばによらないコミュニケーション”の方々への必要な意思決定支援などを学び、さらに障害の有無を乗り越えた「個と個の関係作り」へ発展させていく

*丁寧な意思決定支援と地域を巻き込んだICT機器&アクセシビリティ向上の実践

*“ご本人主体”の学習プログラム「Be Prauリベラルアーツ」の実践を「学びマップ」に記録し、学びの内容、ご本人の反応、集った人たちとの関わり、変容などの軌跡とする

事業終了後の目指す方向性

カレッジの実践を通して地域の中の超重症児者の存在にスポットが当たるようになる。「学び支援」はその方の望む「生き方支援」であり、「ご本人主体」の関わりから、その方の抱える問題が抽出されて、実践の中で構築したネットワークで広く共有される。それが単に制度や障害福祉サービスの問題として捉えられるのではなく、「〇〇さんの抱える問題」として考えることができる地域が育っていく。外出困難な方の自宅での小さな学びが多様な人を包摂し地域を変えていくこの事業が社会に必要とされる。

その他



目白大学
「訪問カレッジサポーター」
紹介動画



「Be Prau」リベラルアーツ
実践報告動画



SNS
メール